

2013年9月20日

各位

VisLab OSAKA

一般社団法人ナレッジキャピタル

## メタミュージアムシアター vol.3

**「フランス国立クリュニー中世美術館所蔵 貴婦人と一角獣」の魅力を科学技術で探る  
グランフロント大阪「ナレッジキャピタル」で9月24日（火）より開催**

VisLab OSAKA（※1、代表：下條真司）はナレッジキャピタルで、「フランス国立クリュニー中世美術館所蔵 貴婦人と一角獣」を高精細大画面タイルドディスプレイに映し出された画像で、自由に操作し鑑賞できる『フランス国立クリュニー中世美術館所蔵 貴婦人と一角獣』の魅力を科学で探る」を、9月24日（火）から29日（日）（ただし、26日（木）を除く）の5日間開催します。

現在、国立国際美術館で開催中の「フランス国立クリュニー中世美術館所蔵 貴婦人と一角獣」展（会期：7月27日～10月20日）において、フランスタピスリー（※2）の最高傑作である六面の連作が展示されています。この展覧会は、日本国内で実物に近い状態で間近に観る貴重な場でもあり、最新の技術で撮影された約204億画素（六面合計）におよぶ高精細デジタル画像の活用でも話題を呼んでいます。

ナレッジキャピタル2階「アクティブスタジオ」に設置しているNICT（※3）高精細大画面タイルドディスプレイは、高解像度データを間引くことなく可視化することができます。今回は「貴婦人と一角獣」の貴重なデジタルデータを、NICTのタイルドディスプレイに株式会社日立製作所が開発した名画ナビシステムを導入し、来場者に高精細かつ大画面の画像を自由に操作しご覧いただくことができます。美術館での上映とは異なり、視覚からタピスリーの繊維の触感まで感じとっていただけます。

西暦1500年頃に制作されたといわれる「貴婦人と一角獣」の魅力を、最新の画像処理技術を用いて探ることで、連作についてより一層の興味を来場者の皆さまにもたらしめます。また、科学技術が美術史、美学などの研究分野と手を携えて、新たな発見を生み出す一歩となることを目指します。

以上

## <開催概要>

■会場： ナレッジキャピタル 2階 The Lab. みんなで世界一研究所「アクティブスタジオ」  
(大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 北館)

■日時： 2013年9月24日(火)、25日(水)、27日(金)、28日(土)、29日(日)  
※26日(木)は除く

第1回 13:30~15:00、第2回 16:00~17:30、第3回 18:00~19:30

※タイトルディスプレイを用いた作品画像のデモを行います。

※28日(土)は特別講演につき、第3回 18:00~19:30のデモはございません。

■参加費：無料

■特別講演： 「『貴婦人と一角獣』展の魅力語る(仮題)」

日時： 9月28日(土) 17:30~19:00

講演者： 橋本梓 (独立行政法人国立国際美術館研究員)

進行： 原久子 (大阪電気通信大学総合情報学部教授)

※同会場にて、特別講演を行います。(定員：当日先着約50名)

■主催： VisLab Osaka

■協力： 凸版印刷株式会社、国立国際美術館、株式会社日立製作所、独立行政法人情報通信研究機構

■展覧会情報： 「フランス国立クリュニー中世美術館所蔵 貴婦人と一角獣」展

URL/<http://www.lady-unicorn.jp/>

会場/国立国際美術館(大阪市北区中之島4-2-55)

開催日/10月20日(日)まで開催中

月曜休館(9/23、10/24の月曜は開館、いずれも翌火曜休館)

開館時間/10:00~17:00、金曜日は19:00まで

観覧料/一般1,500円、大学生1,200円、高校生600円

## 注釈

(※1) VisLabOsaka：「ビジュアリゼーションラボラトリー大阪」の略称。Visualization(可視化)をキーワードに技術・デザイン・アートが出会い協働して発信していくことを狙いに設立。

21世紀のわれわれの生活にとって重要な科学技術を身近なものにするために、スーパーコンピュータ(京)、超高速ネットワーク、インタラクションなどさまざまな技術とデザインやアートとコラボレートする。構成機関は、大阪大学サイバーメディアセンター、大阪電気通信大学、関西大学、関西学院大学、サイバー関西プロジェクトなどから研究者、クリエイターが参画。現在、ナレッジキャピタル9階にラボを設置し、TheLab.3階アクティブラボにオープンラボを常設。代表は、下條真司(大阪大学サイバーメディアセンター教授)。

(※2) タピスリー：壁掛けなどに使われる室内装飾用の織物の一種

(※3) NICT：独立行政法人情報通信研究機構の略称